

DAWN 通信

★特集

今年は、財団設立・ドーンセンター開館 20 周年
ご予定ください!! ご期待ください!!
ドーンとやります。20 周年行事!!

②

■引き続き 5 年間、
笑顔と元気をイコーラムから!

③

■ライブラリー情報/賛助会員ご案内

④

第18号

2014. 3

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる真に豊かな社会の実現に貢献します。

今こそ、女性差別撤廃条約の周知を

世界経済フォーラムが毎年まとめている「世界男女格差報告」によれば、男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数が、日本は、調査対象 136 か国中なんと 105 位です。とりわけ、経済と政治の分野での格差が大きいとのこと。日本の女性の労働力率は、年齢階級別にみると、30 歳台を底とする M 字型カーブを描き、しかも欧米に比べると、その底が深いことで知られています。つまり、出産を機に一旦仕事を辞め、子どもの手が離れてから復帰するというパターンが多いのです。このことと、女性の低賃金や昇進の男女間格差とは無関係ではありません。女性が安心して仕事を続けながら、子どもを産み、育てることができる社会を実現してこそ、女性も男性も、ともに人間として豊かに生きることができ、ひいては、少子化問題も克服できるでしょう。そのことは、欧米諸国の例が示しています。

最近、NHK 経営委員の一人が、「少子化問題の解決策として、女性が家で子を産み育て、男性が妻と子を養うのが合理的」と発言し、物議をかもしました。1979 年、国連総会は、日本を含む 130 か国という圧倒的多数の国の賛同に基づき、「女性差別撤廃条約」を採択し、日本は 1985 年に批准しました。世界女性の憲法といわれる「女性差別撤廃条約」は、男女平等の実現のためには、男女の定型化された役割に基づく偏見、その他のあらゆる慣行の撤廃を実現することが必要であるとの理念を高らかに挙げています。NHK 経営委員の先の発言は、「女性差別撤廃条約」が否定する固定的性別役割分担論であり、性差別を是認、助長するものにほかなりません。

世界女性の宝ともいふべき「女性差別撤廃条約」を、私たちの身近な知識として普及させることが、今ほど必要とされていると感じたことはありません。

弁護士 段林和江

財団ホームページ
<http://www.ogef.jp>

ただいま、情報発信中!!

twitter アカウント

@ O_G_E_F



ブログ更新中

業務執行理事・白井 文の
ブログ掲載中。

<http://ameblo.jp/ogef/>

※財団のホームページはドーンセンターの
ホームページからお入りいただけます。

今年は

財団設立

20
周年

ドーンセンター開館

ご予約ください!! ご期待ください!!
ドーンとやります。20周年行事!!

11月
15▶16
土 日

平成6(1994)年11月、ドーンセンターは開館しました。「夜明け」「物事のはじまり」との意味を持つ「DAWN」は、大阪の女性たちの「ドーンと行こう」のたくましい思いもこめ、構想から実に8年をかけて姿を現しました。

私たち大阪府男女共同参画推進財団は、それより半年早く同年4月に誕生。ここドーンセンターを拠点に、多様で先駆的な男女共同参画社会への取組を進めてまいりました。4年前、府の補助金がゼロとなる自立化という大きな試練にさらされましたが、多くの皆さまに支えられて今日を迎えることができました。

今まで共に歩んで下さったことに心から感謝し、男女共同参画社会の実現に向けて皆さまと共に新たな一歩を踏み出すために、20周年を迎えた記念行事を実施致します。奮ってご参加ください!!

その内容は?!

財団だけでなく、
財団が代表をする

ドーンセンターの指定管理者「共同体」の4者が、それぞれ渾身の1球!

(一財)大阪府男女共同参画推進財団

- ・第18回女性芸術劇場「姉妹たちよ(仮題)」
- ・ポスター展「姉妹たちよ」
- ・東北女性の手仕事物産展
- ・財団設立20周年誌の発行

交流!!

(特活)大阪現代舞台芸術協会

- ・第18回女性芸術劇場「姉妹たちよ(仮題)」

三菱電機ビルテクノサービス(株)関西支社

- ・絵画展 [11/7(金)~11/9(日)]
「口と足で表現する世界の芸術家たち」
手の自由を失った世界各国の画家が、口や足に絵筆をとり丹精を込めて描いた絵画を展示する

(一財)大阪府青少年活動財団

- ・「たまには、野外に繰り出そう!」
家族・中学生以上のグループを対象としたクイズラリーを実施します。
ドーンセンターを飛び出してゴールをめざそう!

発表!!

出会い!!

ドーンフェスティバル2014

登録団体や関係NPO法人などとの共催イベント!

日頃からこのドーンセンターの設立趣旨をご理解いただき、当財団と共催で様々な講座を実施していただける団体に登場いただきます。参加団体を募っています。

2日間はドーンセンター全館が20周年行事に染まります。

引き続き5年間、笑顔と元気をイコーラムから!

(一財)大阪府男女共同参画推進財団が イコーラム指定管理者として再指定されました。

平成23年4月に東大阪市から指定管理者として東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムの運營業務を受託して以来3年間、「わがまち東大阪～笑顔と元気をイコーラムから」を合言葉に運営に取り組んでまいりました。

その実績が認められ、この度平成26年度から指定管理者として再指定を受けました。今後も引き続き5年間下記のような活動を展開してまいります。



東大阪市の特性を活かした、運営と連携

イコーラムは、東大阪市において男女共同参画を推進するための総合的な活動拠点です。そのイコーラムを舞台に、私たち一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団は、女性をとりまく諸問題を解決し、男女ともに性別にとらわれず対等なパートナーとしてあらゆる分野に参画し、お互いに協力し合いながらその持てる能力を十分に発揮できるよう、市民のみなさんをはじめ、団体・企業・教育機関・行政などと連携して、様々な事業を展開していきます。

地域専門的人材の育成

- ・男女共同参画リーダー養成
- ・行政・学校関係者の研修実施
- ・働く女性のロールモデル提示
- ・女性のライフプランニング支援
- ・次世代育成
- ・団体活動支援
- ・リージョン構想の展開
- ・地元人材の活用 他

地域に根ざした課題解決型事業

- ・女性のチャレンジ支援
- ・女性のこころとからだの健康支援
- ・就労応援
- ・男性も参加する子育て支援
- ・女性に対する暴力防止
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・在日外国人との共生事業
- ・情報収集および提供事業 他

他機関との連携

- ・大学との共催事業
- ・学生のキャリア形成支援
- ・関連専門機関との共催
- ・就労支援機関との連携
- ・インターンシップの受入れ
- ・市内の小・中・高校への出前授業
- ・市関連部局との連携
- ・NPO等との協働

期待される効果

- ・地域女性のエンパワメント
- ・男女共同参画による地域の活性化
- ・男女共同参画理念の普及

情報ライブラリーでドキュメンタリー映画をみよう



ドーンセンター情報ライブラリーでは、平成25年1月よりドキュメンタリー映画を上映しています。普段、映画館では上映される機会が少ない作品もご覧いただけます。参加費は無料です。ぜひ、ライブラリーにお立ち寄りください。

＜これまで上映した作品＞

- ・1000人のピースウーマン (2013年1月26日)
- ・ベアテのニッポンだいすきアジア大好き (2013年2月23日)
- ・女性監督にカンパイ! (2013年3月30日)

賛助会員募集中!

当財団は平成6(1994)年の設立以来、ドーンセンターを拠点に、男女共同参画社会の実現をめざして大阪府からの受託をはじめ、財団自主事業を展開しています。例えば、働く女性のためのセミナー、男性のための講座、行政や学校教員を対象とした研修、職場における女性活躍推進等、企業で研修を企画される際の情報相談や資料の貸し出し、女性のメンタルヘルス支援事業等を実施しております。(詳しくはホームページ<http://www.ogef.jp/>をご参照ください。) 私たちとともに豊かな男女共同参画社会を築いていきませんか。

【年会費】(4月から翌年3月までの年度制となります)

- ・個人 一口 3千円
- ・団体 企業等 一口 1万円
- 非営利団体 一口 5千円

【振込先】(郵便振替口座) 00900-9-155214

口座名 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
 (振込先口座) リソナ銀行 大手支店 普通 1632615
 口座名義 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

☆通信欄に『賛助会員 年会費(口数)』と、お名前、ご住所、電話番号、メールアドレス、お名前公表の可否をご記入ください。

- ・韓国発 映画をつくる女たち (2013年6月29日)
- ・Women Pioneers (女性先駆者たち:市川房枝と婦人参政権のあゆみ) (2013年8月31日)
- ・布(結びあう女たち) (2013年10月26日)
- ・おひとりさまを生きる (2013年12月21日)
- ・近くて遠い、遠くて近い貧困問題～自分とつなげて考えてみました～ (2014年2月22日)

＜参加者の感想＞

☆「韓国発 映画をつくる女たち」を鑑賞して

- ・初めてライブラリー上映会に参加しました。じっくりみることができて自分と向き合える気持ちになりました。
- ・世界のいろんな地域で平和のための活動をしている女性がたくさんいることを知り、日本でできることを改めて考えさせられました。

☆「おひとりさまを生きる」を鑑賞して

- ・とてもいい内容でした。その後の話し合いも良かったと思います。自分の残りの人生を客観的にまとめてみる必要があり、その作業のあとに次の一歩が踏み出せるような気がします。
- ・軽度ですが両親とも介護認定を受けたので、娘として複雑な気持ちでこの作品をみました。今後の幸せな余生の過ごし方について、参考となる作品でした。ありがとうございました。

【会員の特典】

- ・財団が発行する定期刊行物の無料配布
 - ・財団指定の主催セミナー講習会等の参加費割引
 - ・財団主催の文化芸術事業(映画等)を賛助会員価格にてご案内
 - ・賛助会員交流懇談会等への無料招待
- (賛助会員の方は、財団ホームページにお名前を掲載いたします。ただし、ご希望により匿名も可能です。)

例えば...

「ドーン・シネマクラブ」
ご鑑賞の場合

一般 1,300円
→ 賛助会員 1,000円

当財団主催講座を
ご受講の場合

一般 20,000円
→ 賛助会員 18,000円
(講座によって受講料が異なります。上記金額は一例)

喫茶ゆいまーる

(ドーンセンター1F)

ランチタイム 10%OFF
(ランチセット) 一般 850円
→ 賛助会員 765円

ティータイム 20%OFF
(ケーキセット) 一般 700円
→ 賛助会員 560円

(コーヒー) 一般 350円
→ 賛助会員 280円

などの特典があります。

財団に関する最新情報は、ホームページでご案内しています。→ <http://www.ogef.jp>

ogef

編集・発行 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 ニュースレター編集部
 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 ドーンセンター3F
 TEL: 06-6910-8615 FAX: 06-6910-8624
 E-mail: info@ogef.jp <http://www.ogef.jp/>

発行日:平成26(2014)年3月15日